

CSR 先進中小企業 アンケート調査 実施報告

## ．CSR先進中小企業アンケート調査 実施報告

### 1. アンケート調査の概要

#### (1) 調査対象

以下の全ての条件に該当する企業 315社

- 1) 東海三県（愛知・三重・岐阜）に本社がある事業者
- 2) 中小企業（製造業系：300人以下、非製造業系：100人以下）
- 3) 下記の認証を受けている事業者
  - ・環境省「エコアクション21」
  - ・愛知県HP「エコスポットあいち」（技術導入企業）
  - ・名古屋市「エコ事業所」
  - ・三重県「小規模事業者向けEMS（M-EMS）」
  - ・岐阜県HP「まるごと環境パビリオン」（環境配慮事業所等）

区分		回答者数	構成比
総数		315	100.0%
県別	愛知県	230	73.0%
	三重県	47	14.9%
	岐阜県	38	12.1%
認証等別	環境省「エコアクション21」	43	13.7%
	愛知県HP「エコスポットあいち」	18	5.7%
	名古屋市「エコ事業所」	186	59.0%
	三重県「小規模事業者向けEMS」	39	12.4%
	岐阜県HP「まるごと環境パビリオン」	33	10.5%

#### (2) 調査期間

平成19年1月5日～19日

#### (3) 調査方法

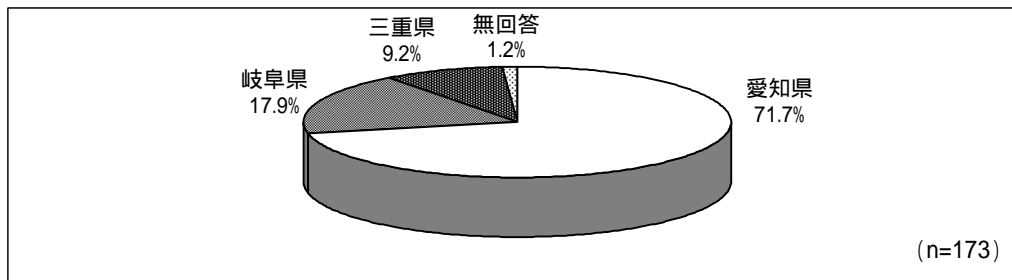
郵送

#### (4) 回答者数

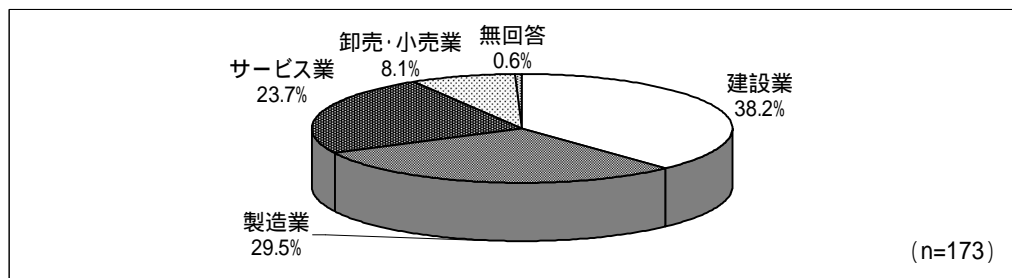
173社（回収率54.9%）

## 2. アンケート調査結果

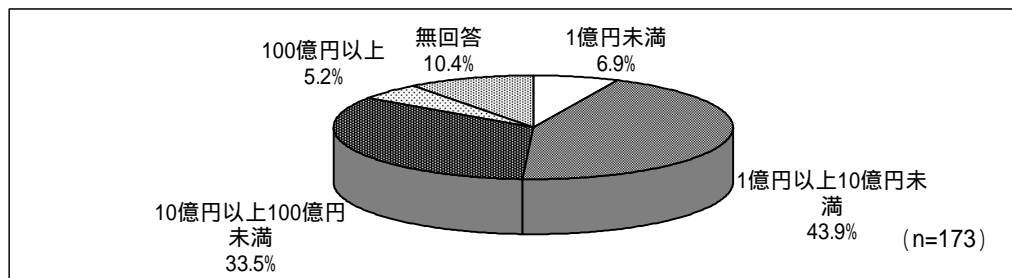
所在地（県）



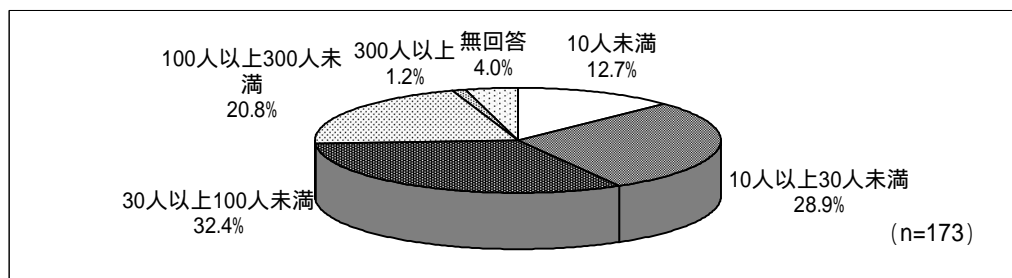
業種



売上高

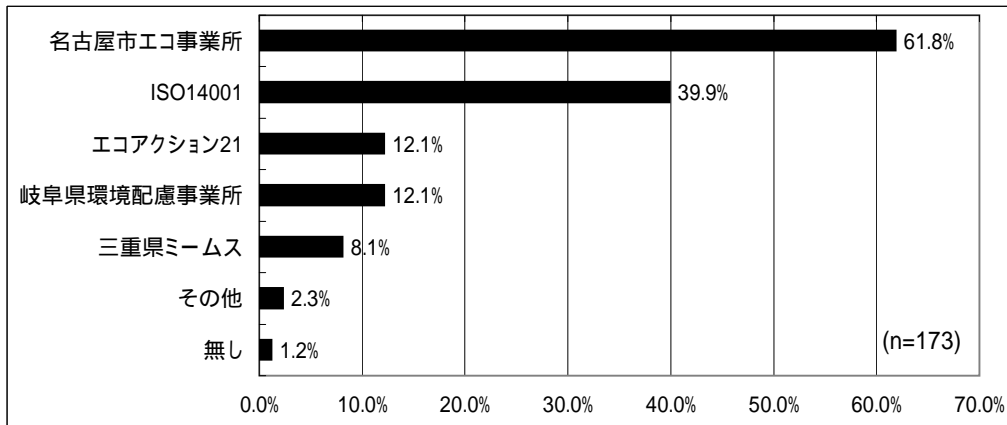


従業員規模



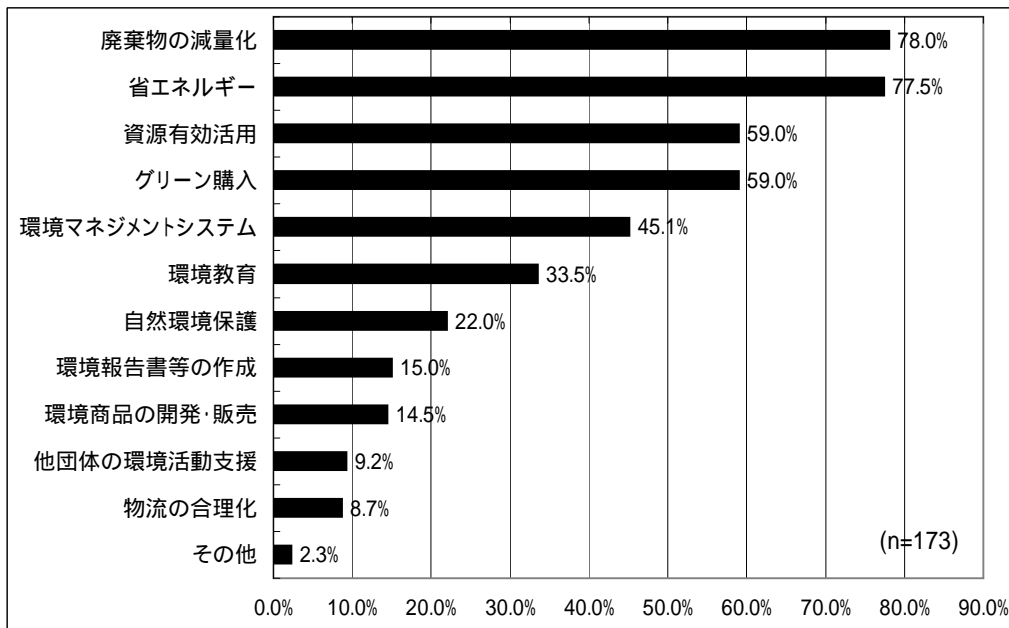
[ 1 ] 環境保全活動についてお尋ねします。

1 - 1 現在取り組んでいる環境保全制度認証活動の名称についてお答えください。



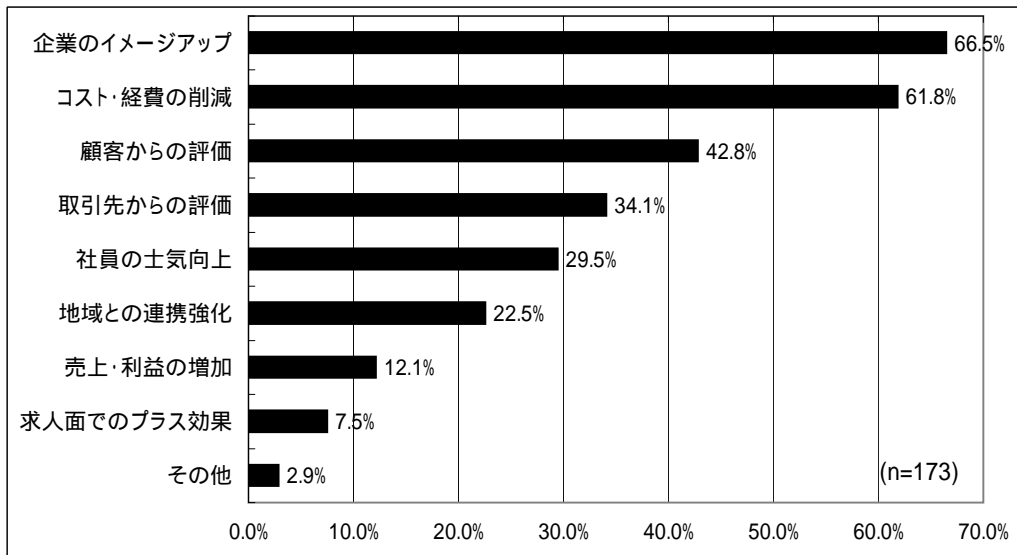
今回のアンケート回答事業者は、98.8%の事業者が何らかの環境保全制度の認証を得ている。中でも代表的な認証制度であるISO14001には、39.9%の事業者が認証を受けていた。

1 - 2 現在取り組んでいる環境保全活動は以下のどれですか？（複数回答可）



「廃棄物の減量化」（78.0%）、「省エネルギー」（77.5%）の二つの取り組みがよく行われているようである。次に「資源有効活用」（59.0%）、「グリーン購入」（59.0%）と続く。「環境報告書の作成」（15.0%）、「環境商品の開発・販売」（14.5%）、「他団体の環境活動支援」（9.2%）、「物流の合理化」（8.7%）について取り組んでいる事業者はまだ少ない。

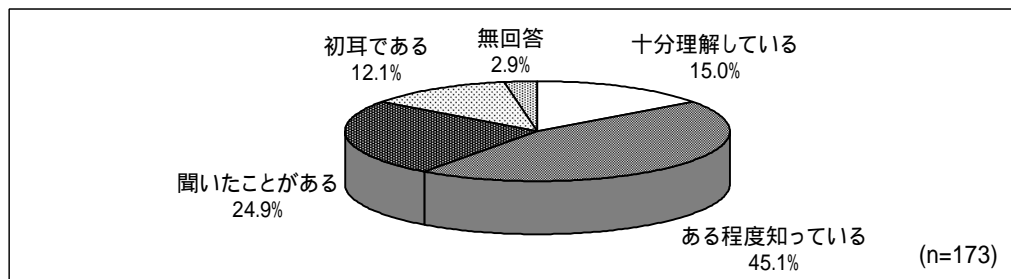
1 - 3 環境保全活動の成果と思われる項目はどれですか？（複数回答可）



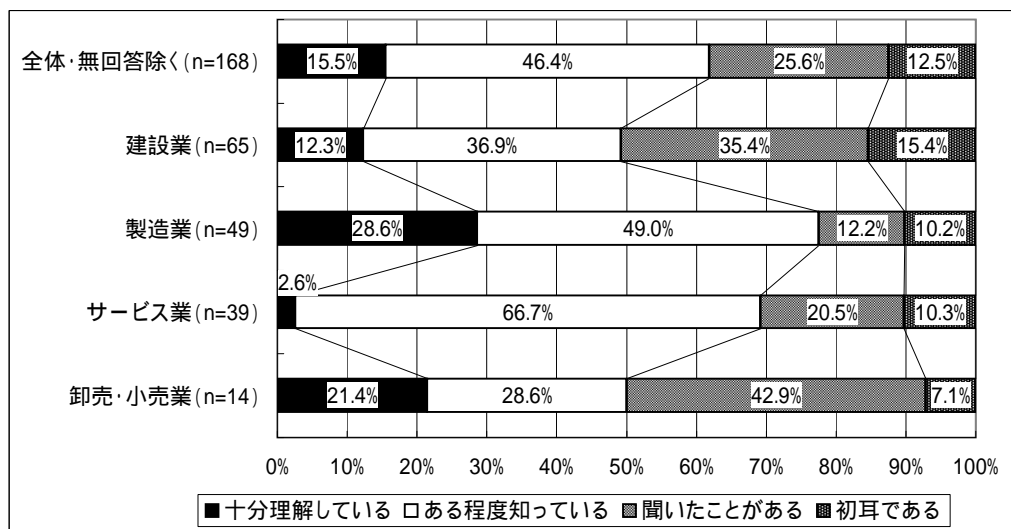
環境保全活動の成果として、「企業のイメージアップ」（66.5%）、「コスト・経費の削減」（61.8%）を上げている事業者が6割以上あった。逆に、「売上・利益の増加」（12.1%）、「求人面でのプラス効果」（7.5%）を感じている事業者は少数であった。

[ 2 ] CSR（企業の社会的責任）についてお尋ねします。

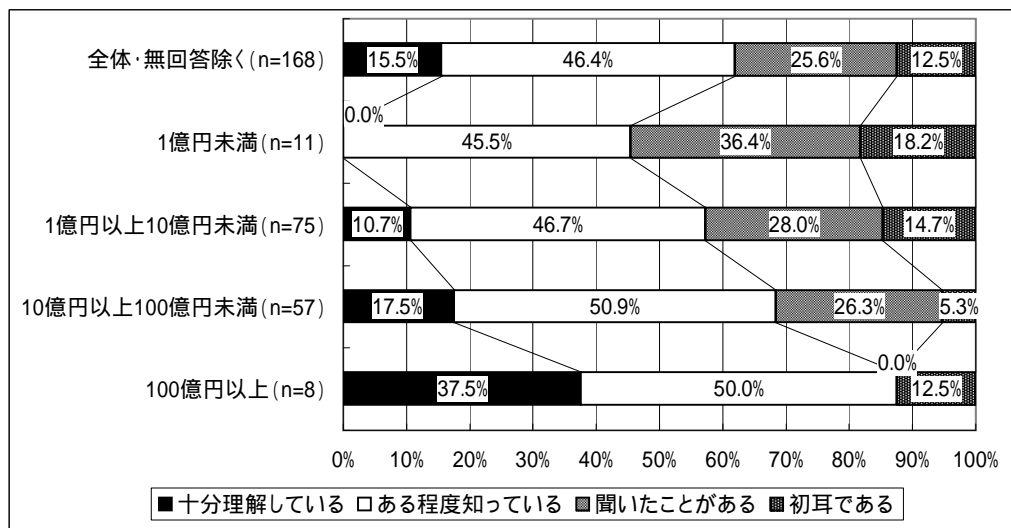
2 - 1 CSRという言葉をご存知ですか？



(業種別)

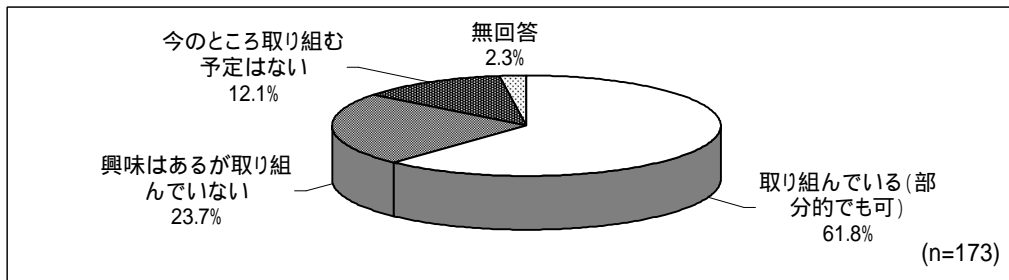


(売上高別)

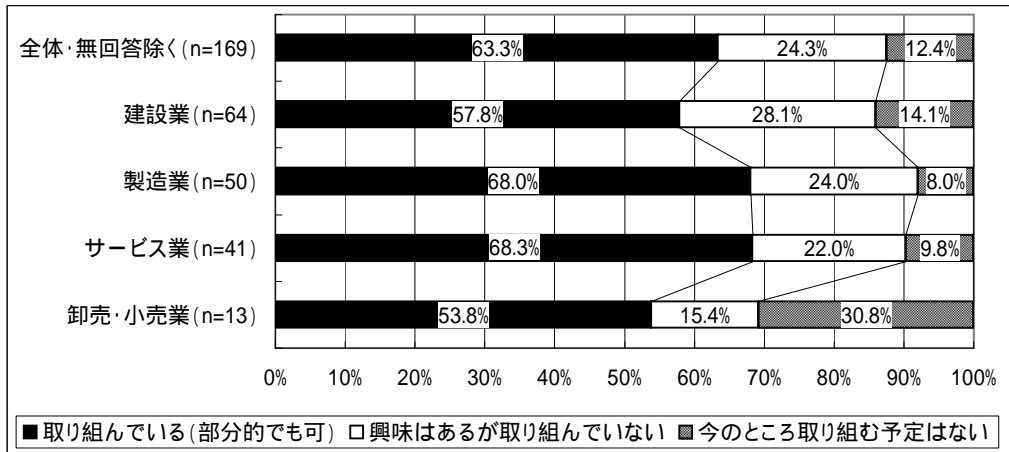


「十分理解できている」（15.0%）、「ある程度知っている」（45.1%）を合わせて、6割超の事業者にCSRという言葉は浸透しているようである。一方、「初耳である」と答えた事業者も12.1%あった。  
業種別に見ると、製造業、サービス業でCSRの認知度が高く、中でも製造業は「十分理解できている」割合も多い。  
売上高別に見ると、売上高が高いほど、CSRの認知度も高くなっている。

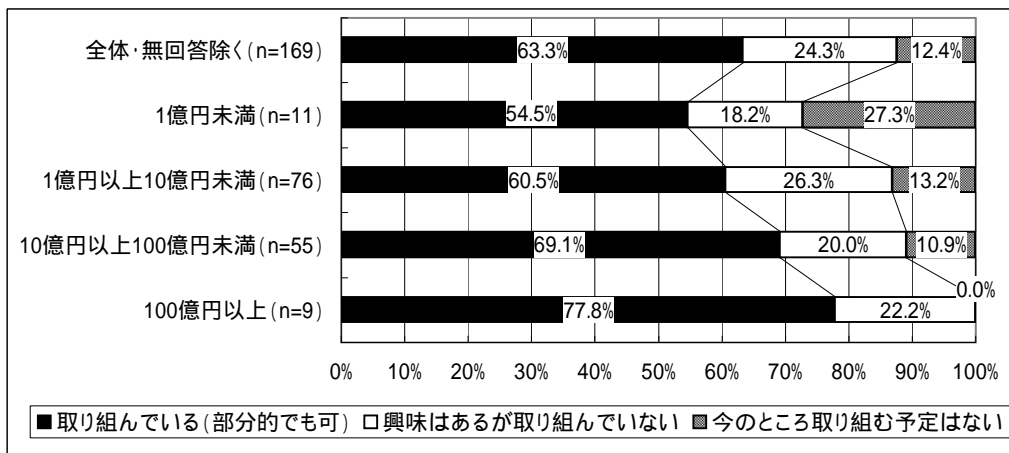
2 - 2 CSR活動に取り組んでいますか？



(業種別)



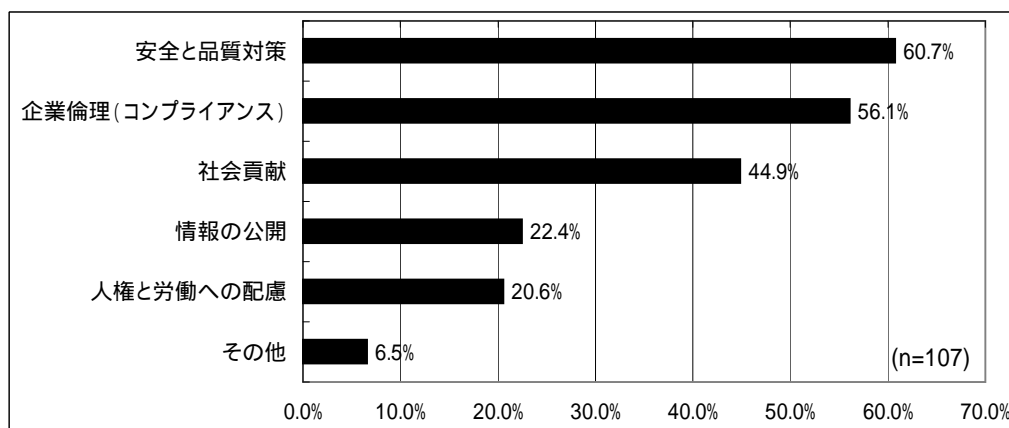
(売上高別)



CSR活動に取り組んでいる事業者が61.8%と、過半数を超えている。一方、取り組む予定のない事業者も12.1%と少なくはない。  
業種別に見ると、卸売・小売業での取り組みが比較的少ない。  
売上高別に見ると、売上高が高いほど、CSRの取り組みが盛んになっている。

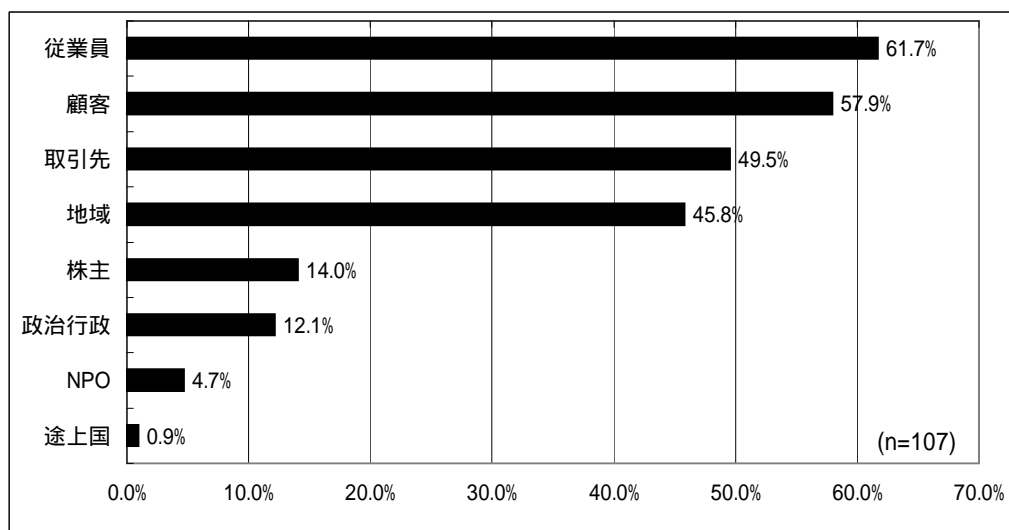
[ 3 ] CSR活動の現状や経緯についてお尋ねします。  
 ( 2 - 2において、 と答えた事業者に尋ねています。 )

3 - 1 環境保全活動以外ではどの分野のCSR活動に取り組んでいますか？ (複数回答可)



環境保全活動以外のCSR活動としては、「安全と品質対策」(60.7%)、「企業倫理(コンプライアンス)」(6.1%)、「社会貢献」(44.9%)といった活動に取り組んでいるところが多い。一方、「情報の公開」(22.4%)、「人権と労働への配慮」(20.6%)といった活動に取り組むところは少ない。

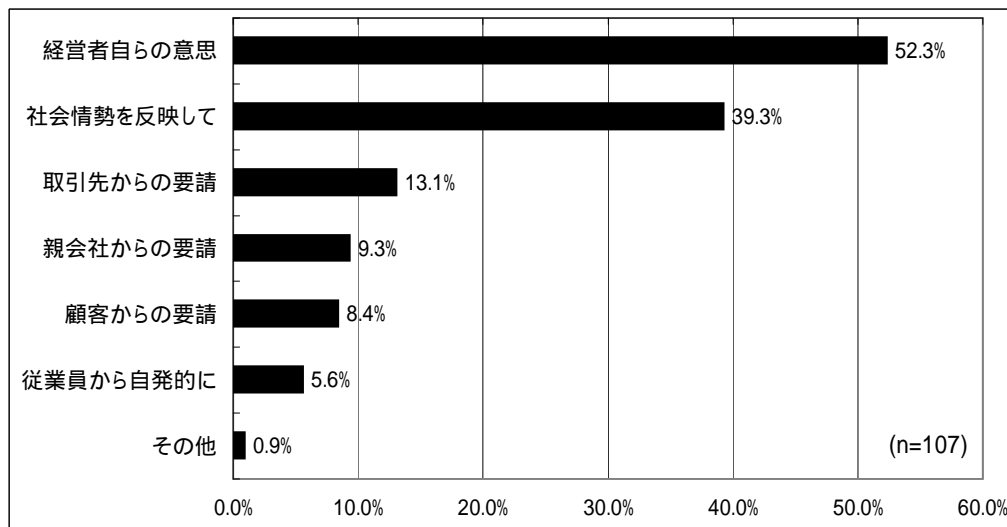
3 - 2 どの関係者(ステークホルダー)を対象としてCSR活動に取り組んでいますか？ (複数回答可)



CSR活動の対象となる関係者としては、上位から「従業員」(61.7%)、「顧客」(57.9%)、「取引先」(49.5%)、「地域」(45.8%)の順になっている。「株主」については14.0%と少数である。「NPO」(4.7%)、「途上国」(0.9%)については、まだまだ関係することが少ないようである。

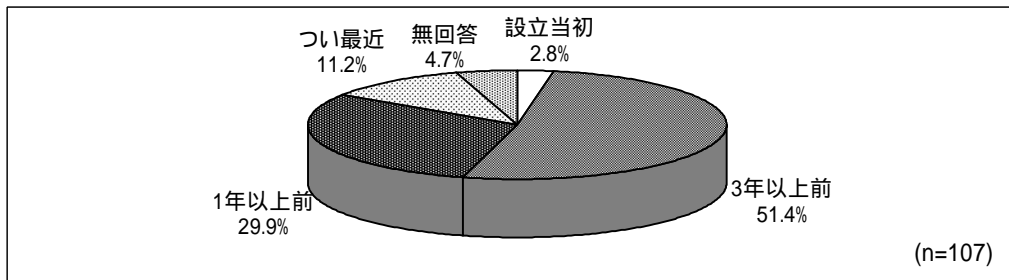


3 - 3 CSR活動の取り組みを開始したきっかけはどのようなことでしたか？（複数回答可）

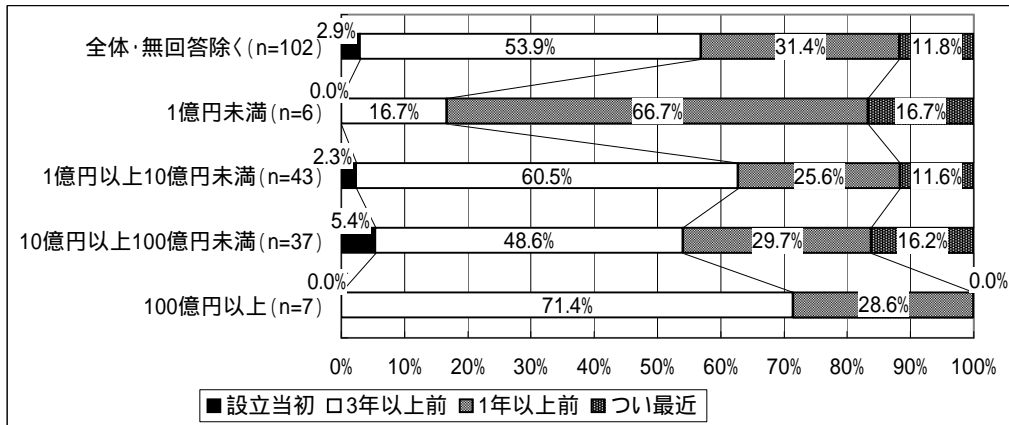


CSR活動の取り組みを開始したきっかけは、「経営者自らの意思」という事業者が半数以上（52.3%）を占めている。「社会情勢を反映して」という事業者も39.3%と4割近くあり、その影響度は高そうである。

3 - 4 CSRへの取り組みを開始した時期はいつごろですか？

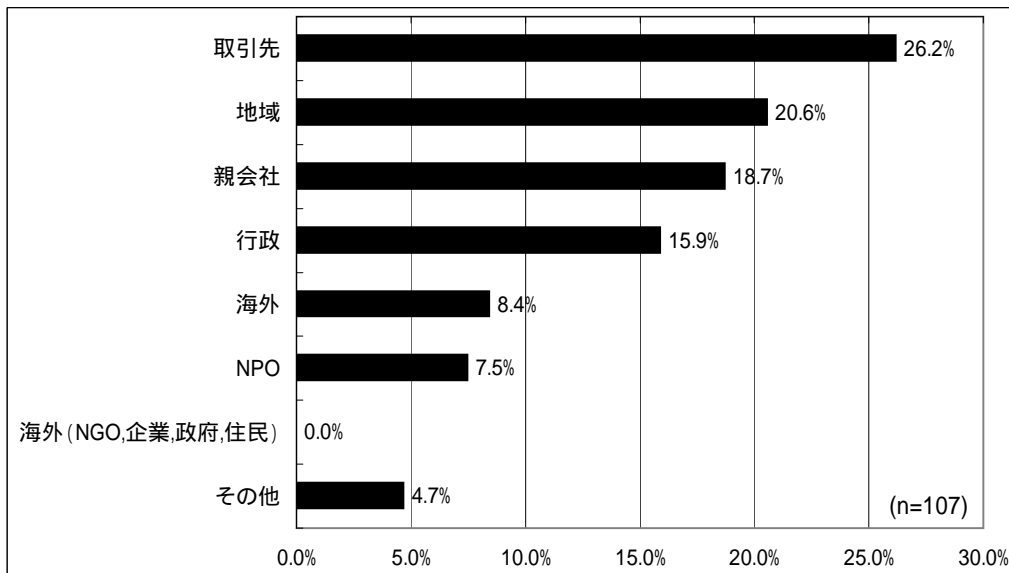


(売上高別)



CSRへの取り組み時期は「3年以上前」からが51.4%と半数以上を占め、次いで「1年以上前」からが29.9%であった。  
売上高別に見ると、1億円未満の売上高の事業者では、3年以内に取り組みを始めた事業者が8割を超えている。

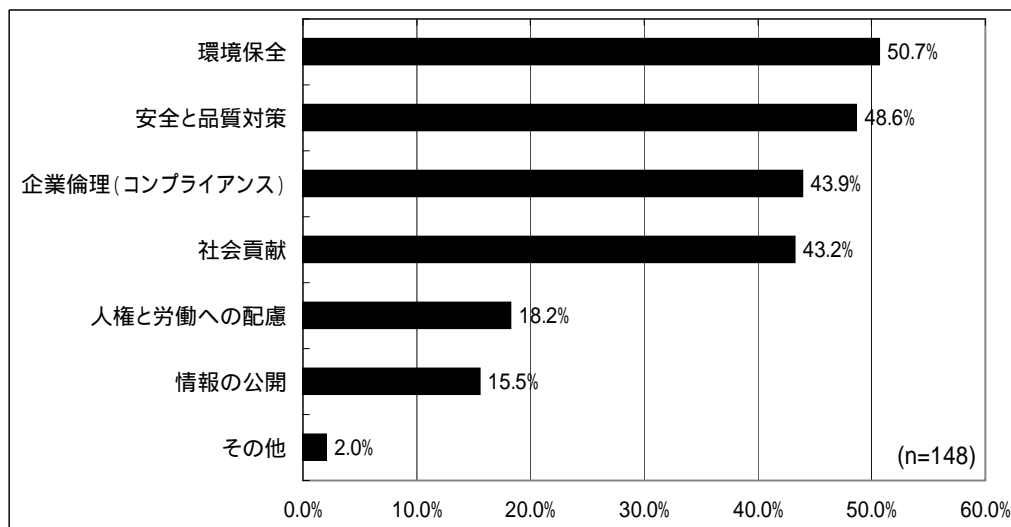
3 - 5 CSR活動推進にあたってパートナーとして連携している相手先はありますか？（複数回答可）



CSR活動推進のパートナーとして、「取引先」(26.2%)が最も多く、次いで「地域」(20.6%)、「親会社」(18.7%)、「行政」(15.9%)と続く。

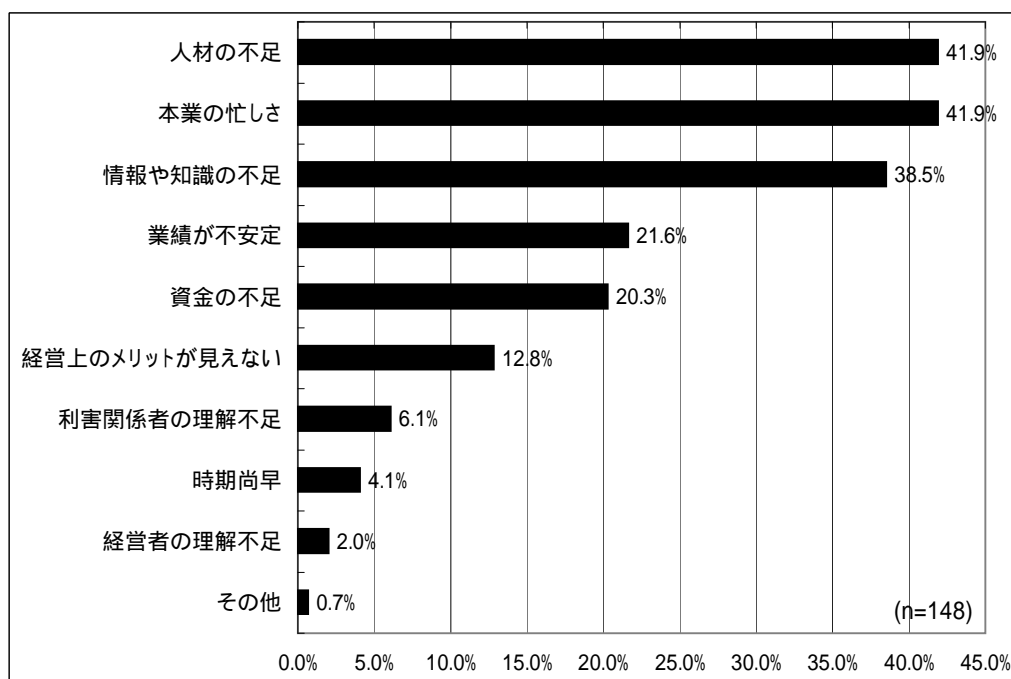
[ 4 ] 今後のCSR活動についてお尋ねします。  
 ( 2 - 2 において、 「か」 を答えた事業者に尋ねています )

4 - 1 今後どの分野のCSR活動に取り組みたいとお考えですか ( 複数回答可 )



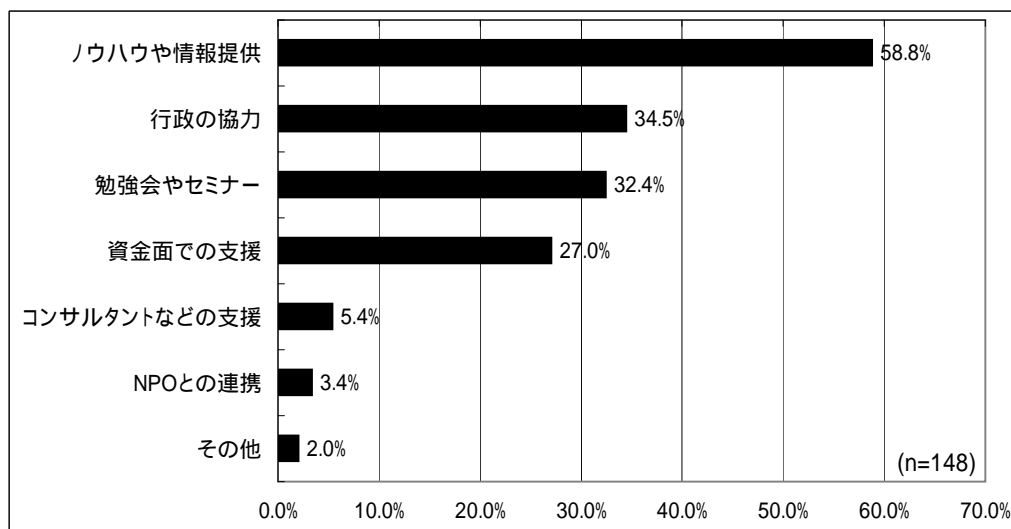
今後取り組みたいCSR活動として、「環境保全」が50.7%と一番多いものの、「安全と品質対策」(48.6%)、「企業倫理(コンプライアンス)」(43.9%)、「社会貢献」(43.2%)についても挙げる事業者は多い。ところが、「人権と労働への配慮」(18.2%)、「情報の公開」(15.5%)についての関心度は低い。

4 - 2 CSR活動に取り組む上での課題や取り組みない理由は何ですか? ( 複数回答可 )



CSR活動の課題として、「人材の不足」(41.9%)、「本業に忙しさ」(41.9%)、「情報や知識の不足」(38.5%)の3つが主な理由として挙げられるようである。

4 - 3 今後CSR活動を進めるためにどのような支援が必要と感じますか？（複数回答可）

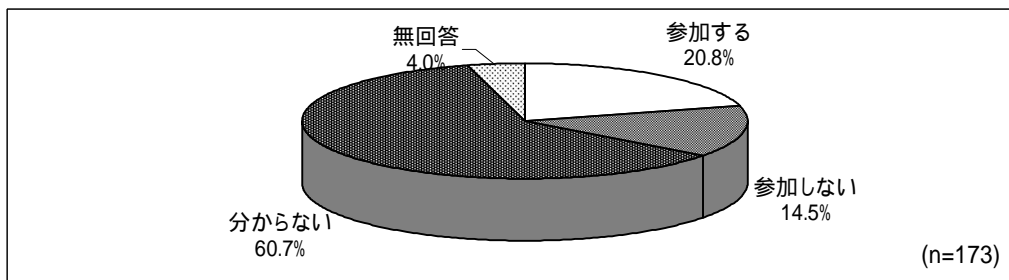


CSR活動に取り組むために事業者から求められている支援は、「ノウハウや情報提供」が最も多く58.8%を占める。次いで、「行政の協力」（34.5%）、「勉強会やセミナー」（32.4%）、「資金面での支援」（27.0%）と続く。

[ 5 ] 日頃、環境保全活動・CSR活動で感じていること、ご意見がありましたらご自由にお書きください。

- ( 1 ) CSR活動における課題について ( 社内体制 )
- ・ PとDは行えるが、CとAの確認検証と書類等の整備が困難。
  - ・ 日常的に実施される環境保全活動及びCSR活動に対しての、記録の作成と管理業務の煩雑さに手間がかかる。
  - ・ ステークホルダーからの強い要請がなければ、マネジメントの根幹をトータルに管理する体制構築・運用の負担が大きい。
- ( 2 ) CSR活動における課題について ( 費用・時間 )
- ・ エコアクション21で指導、認証、登録、中間審査、更新審査等で費用が高い。
  - ・ ISO14001を取得し取り組んでいるが、時間と費用がかかる。取得時と比べ、業績が悪化しており継続に必死で、とてもCSRとかに関心を寄せてはられない。
  - ・ 本業が忙しいため、時間を割けない。
- ( 3 ) CSR活動における課題について ( 制度 )
- ・ 容器物の定義が行政と司法で異なり、資源物を適正に処理しようとしても、廃棄物扱いされてしまう。
  - ・ 環境配慮事業所を登録していたが、更新時に内容が中小企業対象向けに変更され、個人店ではついでにいけなくなってしまった。
  - ・ 社員全員で地域清掃を行っているが、ゴミの散乱はなくなる。こどものうちから課外活動を通じて環境教育を行ってはどうか。また、交通違反者に罰金以外に道路清掃などのボランティア活動ををさせるなどのボランティアさせるなどの法律化したらどうか。
- ( 4 ) CSR活動における課題について ( その他 )
- ・ トップが動いても、一時的で終わり、社員一人一人の自主性を高めることが難しい。
  - ・ ISOの基準などが自社も含め形骸化しているものが多く本当に役立つように運用するノウハウが分かるといい。また他社では実際に従業員に関わる身近なものを充実させている。そのような活動をしていきたい。
  - ・ 企業と地域との関わりが希薄。
  - ・ 自社だけでは解決できない問題が多々あり、仕入先に協力してもらわないと達成できない点については、未だ周囲の状況が出来ないので、なかなか進まない。
- ( 5 ) CSR活動推進に対する要望について
- ・ 環境保全活動・CSR活動ともに、会社責任として自主的に行う事が理想だが、中小企業では自主的に進めている会社は少なく、業界団体を通して、行政 ( 国・県 ) より具体的指導があると、より実行が可能になる。
  - ・ 行政上の何らかの優遇などが無いとメリットとして見られないのでは？
  - ・ CSR活動に対する社会的評価を高めてほしい。
  - ・ 行政側の評価方法が適切になるように希望します。
  - ・ 法改正、条例改正などの動きが激しいので、それらの情報がタイムリーに入手できる仕組みがほしい。
  - ・ 当社はある会を通じて市民の方々と活動をしているが、行政側の協力が今一つないというのが、実情である。
- ( 6 ) CSR活動に対する意識について
- ・ まず大人が影でコソコソしない。うそを言わない。約束を守る。という当たり前を実行すること
  - ・ ISO14001の活動をしているが、このような活動は全社員一丸となる必要がある。経営層の考えのみではなく、末端までの意思統一が不可欠である。
  - ・ CSR活動・環境保全活動を率先して行うべき大手企業がまだまだ利益優先の方針を取っており、表面的には環境活動等で優良企業と思われていても、現実にはギャップがある。内部からの意識の向上を待つしかないのか？
  - ・ 社是にCSRを謳っており、これの具体化に向けて活動している。
  - ・ 環境保全活動は売上げのためにはならないが、各企業が「正しい道」「正しい行動」として取り組む必要があるもの。企業の大小に問わずしなければならない。もちろん大企業ほど環境への負荷が大きいのでより一層の取り組みが必要である。
  - ・ CSR活動が、これから益々大切になってくる。急に高度なことを実行するのではなく、出来ることから実践していきたい。
  - ・ できる範囲で進め、その範囲拡大を図る。
  - ・ 親会社と連携して取り組んでいる。
  - ・ 最近顧客からCSRに関するアンケート調査が来るようになった。環境の次はCSRかと感じている。
  - ・ 行政の請け負いが中心だが、それでもCSR活動は必要なのか？
  - ・ CSR活動は初耳で、活動内容が理解できてない。

[ 6 ] 今後、環境保全活動・CSR活動に関する勉強会やセミナーがあれば参加されますか？



環境保全活動・CSR活動に関する勉強会・セミナーに対し、「参加する」と答えた事業者は20.8%であった。